

自然エネルギー信州ネット

2020年度定時通常総会 議事録

日時：2020年（令和2年）6月20日（土）

15：00～17：00

場所：82プラザ長野ビル2階会議室 および オンライン

出席者（敬称略）：

【役員】

高木 直樹	理事・会長
小野 要	理事・議長
平島 安人	理事・運営会議議長
合原 亮一	理事
茅野 恒秀	理事

宮入 賢一郎	監事
--------	----

柳原 健	顧問
------	----

浅輪 剛博	事務局長
山田 かおり	事務局員

（欠席）

金子 和寛	監事
-------	----

【会員】（正会員20名 行政会員3名 委任状出席正会員24名）

■決定事項 全議案はすべて承認された。

議案

第1号議案	2019年度 事業報告	資料1-1	1-2
-------	-------------	-------	-----

第2号議案	2019年度 収支決算報告および監査報告	資料2-1	2-2
2-3			

第 3 号議案	役員変更の件	資料 3 役員名簿
第 4 号議案	2020 年度 事業計画 (案)	資料 3-1 3-2
第 5 号議案	2020 年度 収支予算計画 (案)	資料 4-1 4-2

議事次第

1. 総会開会の辞
2. 会長あいさつ
3. 顧問あいさつ

柳原顧問

4. 議長選出

小野理事を議長として満場一致で選出。

5. 議事

事務局長 (浅輪)

定数確認します。正会員 78 名のところ、過半数(39 名)以上の 44 名の参加があり、規約の定めるところにより、総会成立しています。(うち 24 名 委任出席)

第 1 号議案 2019 年度 事業報告 資料 1-1 1-2

第 2 号議案 2019 年度 収支決算報告および監査報告 資料 2-1 2-2
2-3 2-4

議長 (小野理事) : 第 1 号議案、第 2 号議案は昨年度の活動報告なので、続けて審議します。平島理事、ご説明をお願いします。

平島理事 : 2019 年の活動報告資料は、先日の運営会議にて決議されたものですので、運営会議議長であった私より、ご説明いたします。

資料 1-1 をご覧ください。

専門部会では、一時より活動が活発ではなくなってきましたのですが、太陽光部会は、ソーラーパトロール、保守点検を構築しようという事業を行いました。バイ

オマス 部会では、長野県内の各地の視察を行いました。専門部会をどう行っていくかは今後の課題です。

プロジェクトチームが、いくつも立ち上がり、活動の中心となっています。

「信州自然エネルギー白書」。研究や調査、セミナーを行なっています。

「自然エネルギーコアセミナー」大きなテーマで、持続可能な社会のための、そのために、自然エネルギーがどう関われるかのセミナーを、信州ネット主催、および、後援しながら行ってきました。

「信州ソーラーパトロール」屋根ソーラー拡大ともからめ、持続可能なソーラーの体制を作るプロジェクトです。保守点検や廃棄処理に関しての調査をしました。

次に地域重点型のプロジェクトです。

「鬼無里」。森林地帯、農村での持続可能プロジェクトです。

「白馬」および、「松本」での SDGs 拡大プロジェクト。積水ハウスマッチングプログラムの助成も受け、地元の団体や個人と一緒に、セミナーや調査、イベントを行なってきました。白馬では、高校生も活動に加わり、村も気候非常事態宣言を出すことになりました。

松本では、突破方針を読み解くセミナーの開催、および、四賀地区での松枯れ対策も含め、持続可能な森林、そして、薪を活かすなどの活動を行なってきました。本年度以降も継続して実施していきます。

自治体との連携事業では、長野県の林務部と共同して、薪とペレットのストーブフェスティバル「大集合」イベントを行い、多くの人を訪れました。また、普及ブックレットも作成しました。

諏訪地域での SUWACO Labo では、長野県、岡谷酸素と共催で信州自然エネルギーマルシェ を行いました。天候が悪かったが、屋内での開催もあり、参加者に様々な自然エネルギーを体感してもらえました。

議長：ありがとうございます。同時期のものですので、第2号議案の決算報告も続いてお願いします。

浅輪事務局長：

決算関係のご報告になります。膨大な資料になりますので、1枚に全体像をまとめました。(資料2-1)

任意団体の信州ネットは、公益事業として、会費収入は昨年より 37,000 円減少。G20 関連の県からの補助事業 226,800 円がありました。

収益事業として、SUWACO Labo 関連事業は例年通り 200 万円の事業。また、本年度は林務部からの薪ペレット事業約 50 万円もありました。管理費は、約 72 万

円、ほぼ毎年固定でかかっています。税制上は、管理費を、収入割合に応じて、公益事業と収益事業の費用に振ってあります。

事業部門別に見ると、管理費を別にして、ほぼ全事業が収支同額ほどですが、薪ペレット事業は、新規事業として費用が多めに出て、12万円ほど支出が超過しました。

一般社団法人の信州ネットは、有限責任法人が望ましい契約や雇用に関する事業を行っているいわば特定目的団体ですが、実質一体的に経営されています。ここでは、事務員の人件費などで約170万円ほど、および、先ほど報告にあった積水ハウスの事業70万円を本年度は行いました。これも新規事業で特に交通費が嵩んで、25万円ほど超過しました。

議長：続けて、監査報告もお願いします。

宮入監事：金子監事は欠席ですので代理も含め報告させていただきます。監査の結果、会計および業務において会計帳簿の記載内容とも一致し、正しく行われていることを確認しましたので、ご報告します。

議長：ご質問ありませんでしょうか。

茅野理事：一般社団法人の支出が超過したということですが、今年度で取り戻せる状況でしょうか。

事務局長：今年度も積水事業に採択され、収入は70万円から100万円と増加し、また、今年度はオンラインが中心になることもあり、交通費は若干抑えられる予定です。

採決 満場一致で第1号議案、第2号議案 承認された。

第3号議案 2020年度 役員変更の件 資料3 役員名簿

議長：続いて第3号議案です。事務局長より説明をお願いします。

浅輪事務局長：二年任期の中途ですが、田村理事と蓬田理事が事情で退任。一方、会長より新任理事として正会員の菅沼利和さんへの推薦がありました。また、顧問ですが、長野県のゼロカーボン推進室の立ち上げに伴い、柳原室長に就任をお願いし、ご承諾いただきました。

議長：ご意見、ご質問などありますでしょうか。

平島理事：運営会議でもありましたが、地域的、会員種別、また、女性・若者の理事など、幅広い層の理事がいればと希望します。

事務局長：理事の任期は 2 年で今年度末まで継続しています。理事ではなくても、オブザーバーとして関わってみたいなども良いと思います。役員メンバーになると新しい取り組みに触れることもできますので。

採決 満場一致で第 3 号議案 承認された。

菅沼新理事挨拶：おひさま進歩エネルギーの菅沼です。前任の蓬田理事が退任で、南信州からの理事も不在になってしまいますので、私が理事として関わっていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

第 4 号議案 2020 年度 事業計画（案） 資料 3-1 3-2
第 5 号議案 2020 年度 収支予算計画（案） 資料 4-1 4-2

議長：続いて第 4 号議案。平島理事、ご説明いただけますか。

平島理事：今年度の計画は実際の活動の中心になっているプロジェクトを最初に掲げて、それを地域協議会や専門部会がどうサポートするか、という順番で記載してあります。

主な方針として、下記の 4 つを掲げています。

- 1) コアセミナーを県内 3 カ所で開催（世界的、全国的な流れを中心に。最新情報を総合的に得る）
- 2) プロジェクト実行力を上げる。専門部会や自治体、地元との連携。
- 3) 重点地域への立ち上げサポート
- 4) 県や市町村との協働事業

1) コアセミナー。このような社会状況ですが、オンラインセミナーの可能性も見えてきているので、長野県の突破方針にも絡めながら連続セミナーを行いたいと思います。

2) 専門分野ごとのプロジェクト実行ですが、屋根ソーラーの拡大のプロジェクトがあります。これと関連して、ソーラーパトロール事業、ソーラーシェアリング事業も推進していきます。

また、より広いエネルギー分野として、省エネルギー、エコハウス、エネルギーまちづくり（移動距離が短い街、エネルギーをシェアしやすい街）なども進めていきたいです。

3) 重点地域への立ち上げサポートでは、昨年度と引き続き、白馬バレー、松

本地域、そして、小谷村でのプロジェクトなど進めていきます。白馬高校の断熱DIYプロジェクトなど予定していますが、コロナ感染状況をみながらの実行となりそうです。

4) 県や市町村との協働事業では、先にあげたコアセミナーに含まれる突破方針関連のものとともに、諏訪では、SUWACO Labo 事業があります。例年のようなマルシェを行う予定で日程と場所の予約はしてあるのですが、これも感染状況、また、より即効性のある事業への変更の可能性もあります。オンライン動画やまた、諏訪のメガソーラー計画への代替案としての持続可能な森林づくりなどの事業にもつないでいければと思っています。

専門部会は以上に挙げたようなプロジェクトへのサポートを中心としています。例えば、屋根ソーラー拡大プロジェクトには太陽光部会が関わってパンフレットの作成中です。

議長：引き続き、第5号議案の予算のご説明もお願いします。

浅輪事務局長：資料の4-1にあります。昨年度との違いについて。G20 補助事業と薪ペレット事業がなくなります。管理部門で会計ソフトやズームなど事務効率化の費用が数万円ほど増えています。一社の積水事業は100万円に増額で採択されました。

議長：ありがとうございます。質問、ご意見をお願いします。

会員：

活動計画の件で、プロジェクトのご担当者が田村理事のものもありますので、変更したらどうでしょうか。

また、積水ハウスプロジェクトは、まめつてえ鬼無里でも採択されました。

信州ネットでも取れているので、共同して活用したいと積水ハウスからも話がありました。会社設立60周年記念でもあるということで、自然エネルギーを体験できるような事業を一緒に行いたいということです。

議長：田村理事の後任をこの場で、決められればと思います。まず、白馬事業があります。

茅野理事：実質は浅輪事務局長と上田の皆さんが動いていると思います。

事務局長：私が担当でもいいですが、事務局はいずれにしても全ての事業をサポートしています。

合原理事：住宅にも関わるので、高木会長にもご担当としてお願いできれば。

高木会長：ズームに入るのに苦勞して遅くなり失礼しました。はい、積水ハウス関連、また、小谷プロジェクトなども担当理事として活動したいと思います。

議長：では、田村理事の後任として高木会長にお願いして、事業計画の書き換えをお願いします。

会員：イベントの実施は、どのような展開ができるか分からないので、オンラ

インに専念するとして準備を進めたらどうでしょうか。オンラインならではの新しいやり方があると思います。

打ち合わせやミーティングでのオンラインの有効性はよく分かってきました。

また、一般の参加者にアピールするオンラインの方法を工夫しませんか。

気軽なセミナーの回数を重ねるというのもあり。

また、ワークショップや体験／視察会の代わりになるような方法として、動画やオンラインで現場を体験できるようなサイトなど。

会場とオンラインの同時開催も、より良いやり方があれば。

事務局長：先ほどのトークセッションでは、会場とオンラインの同時進行を試してみましたが、無線 LAN に予定以上の負荷がかかったせいか、途中で画像が途切れてしまった。

茅野理事：ホストの PC だけは有線 LAN で繋げる方が安定します。

事務局長：ウェビナーのやり方というセミナーも要望があるかも。

合原理事：長野は広いのでオンラインは重要だと思います。ミーティングもセミナーも。参加者も移動の時間が要らなくなるので、告知時間が短くとも集まりやすい。経験してもらおう、というのはオンラインでは難しいかもしれないが、小規模なものを何箇所かで行うしかないか。

事務局長：確かに、今回もここ数日で参加者が急増した。オンラインならフラットと参加しやすい。突破方針のそれぞれのプロジェクトなど魅力的な話題ばかりなので、連続セミナーを開催し、他の専門委員もぜひ、講師でお願いしたい。

会員：資料代を払って参加する人も大勢いたのは、貴重だと思います。多少の収入も見込まれます。

会員：本日の動画も含め、独自の動画などもどんどん掲載していければ。

事務局長：視察などしにくくなっているかもしれないが、動画で場所を撮って掲載をしたり、あるいは、ワークショップや実験なども動画で撮影したり、いろいろなアイデアを考えられる。

会員：Youtube や Facebook でも動画をアップする。原稿や写真だけよりも、動画の方がわかりやすいかも。

議長：分かりやすく、アピール力もありますので、積極的に進めていきたいですね。

そのほか、活動計画の内容に関してなど、ご意見いかがでしょうか。

茅野理事：気候危機突破方針の関係で、各地域で独自のプロジェクトの構想などあったりするのでしょうか。

会員：上田では、設置費用ゼロ円の相乗りくん太陽光設置を呼びかけています。屋根をお貸しする人にとってのメリットが高くなっています。太陽光電気を使用した方が、電力会社の電気より安いので。

事務局長：全ての屋根にソーラーを、というチラシやブックレットを制作中です。もう太陽光は儲からない、というイメージがあるようですが、メリットが実はとても出てきている、ということ表現しようとしています。その上で、どう働きかけるか、ということですが、工務店の方や、あるいは銀行ローンを担当する金融機関の窓口でも、のちに光熱費が下がるのでメリットがあり、返済にも多少余裕が出るなど、つけやすくなっていることを印象付けたい。あるいはローンでの支払いが厳しくても、ゼロ円で設置ができる例などを紹介してもらいたい、そういう意図でのパンフレットになります。

菅沼理事：おひさま進歩エネルギーで確かに9年前にゼロ円ソーラーを始めました。最近では、利用者が減ってきたので、ちょっと中止していましたが、新しいメリットということでまた見直されているので、また始められたら。既存の住宅に付けていくのに色々苦勞するところもありました。飯田では、高圧の逆潮流の場合、系統会社の承諾がほぼ下りないので、高圧施設での自家使用の設計に苦勞しています。困った話では5kWのPVの施設で新たに空調をつけて高圧需要にした瞬間に逆潮流は停止ということもあります。高圧でも自家消費をもう少し安価でやりやすくという形にも持っていけないだろうか。

茅野理事：太陽光以外でも地域での取り組みがあると思いますが、例えば、松本では私も絡んでモビリティの考えも出てきています。EVやシェアサイクルなどの話も、また、電動キックボード、MaaSなどなど。そのための電源をどう確保するかということで、太陽光や水力などの再エネ電力を供給できるような、そこで新電力もある、というような話も出てきています。個人的には、エネット松本もあり、産官学で松本に根ざした電力会社ができればと思います。

最近では上伊那で、サステナブル環境部会の部会長も努めることになりました。部会には地域新電力も入るそうで、何か仕掛けたいと思っています。上伊那で信州ネット関係の活動が停滞しているので、このタイミングで何か動きができたらいいですね。松本では会員のさとやまエネルギー株式会社さんも色々な提案をしてくれています。

菅沼理事：飯田では、飯田まちづくり電力、の活動が始まっています。飯田市とも協定を結んで供給しています。飯田ケーブルテレビ、飯田まちづくりカンパニーとおひさま進歩エネルギーで共同出資して設立しました。地域の再生可能エネルギー（FIT電力）で、30%ぐらい。電気料金をわかりやすくしたいとして、個人向けには基本料金をゼロにしました。お子さんやUIターンへのサービスなど、あるいは特定の集落へのサービスなど、考えています。中山間地への支援など。次に卒FITの電気を10円で買い取ろうというサービスも始めています。

太陽光が多いのですが、使いきれなくて余った場合も市場などで売ることができるので、変動性の発電もそれほど不便ではないです。

事務局長：電力市場も大きく変わってくるので、そのセミナーも考えたい。

茅野理事：気候危機突破方針とも併せて考えると、新電力とモビリティ、EV

を蓄電池代わりに使うという方法も進めていけるのでは。

菅沼理事：公共交通の話では、飯田では再エネ発電所をEVに蓄電しようという提案がありました。新電力と行政とも一緒になって。

茅野理事：松本では全国規模のエネルギー卸小売事業者が関心を示しています。

上伊那でもモビリティを考えたいという話があります。EVに蓄電して、災害時に被害地域に移動して給電車になれるのでは、という話があります。太陽光に頼るのが新電力は難しくなっていたのですが、EVなどの蓄電が利用できればより入れやすくなります。

事務局長：セクターカップリングで、EVや蓄電池や、熱に変えて熱供給網に回すなどの方策で、太陽光の需給調整ができるようになってきていますね。

茅野理事：蓄電池も大型のものなど大部、安くなってきました。世界では、児童労働を伴わないなど、搾取的でない、フェアな形式で生産された蓄電池供給に焦点が移り始めています。

事務局長：コバルトですね。ドイツの小さな村育ちのゾンネという会社が、ゼロ円蓄電ではないですが、コバルトフリーの蓄電池と太陽光を家庭に置いて、電力市場の値段に併せて放出蓄電を繰り返す、というビジネスも出ていますね。日本に上陸しました。

様々なエネルギーを横に広げるような信州ネットらしい新電力、エネルギー調整機関など構想を持ちたいです。新電力連絡会、プロジェクトのようなもの。

会員：上田では10月18日に村上敦さんと呼んで、ショートウェイシティを含め、総合的なエネルギー利用、エネルギーまちづくりのセミナーを予定しています。

議長：オンラインの方々、聞こえていますでしょうか。

事務局長：Slackは使いやすいでしょうか。プロジェクトによっては使っていますが。

議長：書き込みが多かったり、沈黙したり、ありますね。

会員：訪問するのに、人によって頻度の差がありますね。

合原理事：Slackはプロジェクトメンバーが同時に始めた場合はやりやすいですが、後から入った人は何が起きているのか、把握しにくいということがありますね。他の分野のプロジェクトでも同じような課題があるようです。

提案ですが、例えば、この一週間はみなさん一斉にSlackに参加してください、という方法。

もう一つは、始めて入る人が、まずそこを見ると一覧できるような整理、これがあると使いやすいのではと思います。

また、今回、実会場とオンラインの同時開催という総会ですが、オンラインでは少し、議論が聞きにくくなっているところもありました。ビデオ会議用のマイクを使うなど一定の機材は揃えた方が良いのではないのでしょうか。

事務局長：議長の近くにマイクを追加して設置しておくなど。

合原理事：周りにある音を均等に拾える製品もあるので、今ではそれほど高価でもないので、試してみたいはいかがでしょうか。

平島理事：そうですね。マイクとスピーカーが一体になったものの使用は、ビジネスでは必須のような感じですね。

事務局長：必要なものなので、予算を見ながら購入したいです。今後もウェビナーやウェブ会議を続けていきたいのです。

議長：第4号議案と第5号議案、かなり話が深まりました。ありがとうございます。時間も迫っていますので、議案の議決を取りたいと思います。

採決 満場一致で第4号第5号議案 承認された。

6. 議長退任

7. 閉会